

横断歩行者保護宣言

～ 「てまえ運動」 などの実践 ～

私達（ドライバーなど）は

- 横断歩道は歩行者優先であることを忘れずに運転します
- 横断歩道を通過する際は、横断歩行者等の有無を確実に確認します

夜間は、対向車や前車がないときなどを除き「ライトを上向きに点灯」し、早期に歩行者を発見する。

- 「てまえ運動」を実践するとともに、家族や友人等にも実践を促します

【てまえ運動（運転者の行動）】

横断歩道を横断しようとしている歩行者がいる場合は、横断歩道の「手前」で一時停止し、歩行者に対して「手を前に出して合図」して歩行者を安全に横断させる。

- ダイヤマークを見つけたら（横断歩道に接近するとき）、横断歩道の手前で停止できるような安全な速度で進行します
※歩行者がいなかったことが明らかな場合を除く。
- 自転車利用時も歩行者優先を徹底します
- 横断歩道に関する交通ルールを遵守します